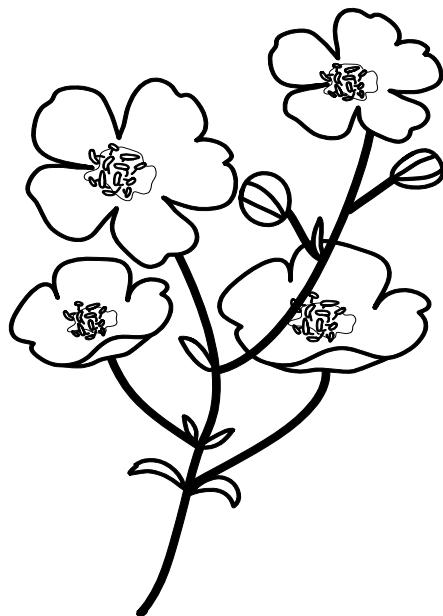




運営に関する計画

平成 31 年度



大阪市立菅原小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○いじめ対策委員会などを活用し教職員の情報交換を活発にしてきた結果、平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は 97.9% であり目標を達成した。今後も早期発見、早期対応に努め目標を達成し続けることが必要である。暴力行為を複数回行う加害児童数や、新たに不登校になる児童の割合は微増となった。今後はいっそう、警察やこども相談センター、子育て支援室等関係諸機関との連携を強化し、児童の健全育成に向けた行動連携に努める必要がある。

○道徳心・社会性の育成の基本として「あいさつ」を掲げ、あいさつ強調週間やあいさつ当番に取り組んできた結果、「進んであいさつをしている」と答える児童の割合は増加した。今後はさらに、身だしなみを整え、場に応じたあいさつができるよう取り組んでいきたい。自尊感情の低さが積年の課題であった。芸術鑑賞や体験活動、「よいところ見つけ」や「すてきな自分カード」による自己分析などに積極的に取り組み、「自分にはよいところがある」「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答の割合も向上してきている。

○地域に開かれた学校づくりに向け、情報発信に積極的に取り組んできた。ホームページの更新回数は年間 1200 回以上、閲覧数も 45,000 回を超えた。保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答えた保護者の割合は 94% と目標を上回った。今後は内容の充実を図っていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○学力向上の基礎として、読書習慣の定着を重視し、読書環境を整備し読書の質と量の向上を図っている。保護者や地域とともに読書に親しむイベントも積極的に取り入れてきた。しかし、「進んで読書をしている」児童の割合は、H29 年度 65%，H30 年度 68% と、めざましい成果を見るにはいたっていない。

教員の指導力向上のための研究授業や校内研修、メンター研修、ＩＣＴ 機器の活用等を進めてきた。また、学力向上推進モデル事業の取組を重ねるにつれ、教員の学習指導に対する意識や意欲が大いに高まった。

基礎基本を重視した個別の学習支援に継続して取り組んできた。授業内における学びサポーターの活用を充実させたり、家庭学習・自主学習の習慣化を図るため、優れた自主学習ノートを紹介したり、放課後の学習に学びサポーターを活用したりしてきた。

「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して肯定的に回答する児童の割合も、H29 年度 60.8%，H30 年度 63.6% と、目標は達成しているものの顕著な伸びは見られない。研究の視点に「伝え合う活動の充実」を取り入れるなど、重点的に取組を進める必要がある。

全国学力・学習状況調査における無解答率の高さが課題であったが、平成 29 年度には平均で 2.0% となり、平成 28 年度より 4.7 ポイント減少した。この姿勢は、大阪市学力経年調査の結果にも表れており、特筆すべき成果と言える。ただし、正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を、4・5 年生では達成できなかったため、今後は基礎基本のスキルアップを図る時間を継続的に確保できるよう工夫していきたい。

○体力向上の取組として、体育科の授業の準備運動に、柔軟性を高める体ほぐしの運動を徹底した。また、なわとび週間やかけ足週間、各学級でみんな遊びを週2回以上設けるなど、運動の生活化を図った。全国体力・運動能力、運動習慣調査では、シャトルラン・長座体前屈ともに記録が伸びつつある。今後も体育科の授業内外で、運動の内容・種類の充実、運動量の確保に努めたい。

健康に関する意識を向上させるために「手洗い・うがい」の強調週間や清潔調べを行っている。ハンカチ・ティッシュを携帯していない児童は固定化の傾向にあるため、家庭との連携強化も課題である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成32年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。

○平成29年度～32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。

○平成32年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度の全国学力・学習状況調査より毎年向上させる。

○平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成32年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を平成28年度(6.65%)より3ポイント以上減少させる。

○平成32年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成28年度(96.9%)より向上させる。

○特に課題であるシャトルランと長座体前屈の記録を、平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成28年度より5ポイント向上させる。

○平成32年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけてている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 校内アンケートにおけるあいさつに関する項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。
- 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 90%以上で維持する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 校内アンケートにおける「進んで読書をしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「算数科の授業内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上で維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立菅原小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめの早期発見・解消のため、いじめアンケートと教育相談を実施する。また、いじめや暴力行為、不登校に関する組織的対応を協議するための問題行動等対策委員会と、生活指導上の諸課題について全教職員が共通理解するための生活指導連絡会を定期的に行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを年3回実施し、事後の適切な対応と解消に努める。 ・問題行動等対策委員会、生活指導連絡会を、それぞれ年8回以上行う。 ・学校安心ルールを周知し、事案に応じた組織的対応に努める。 <p>取組内容②【施策1 安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>学校や家庭、児童の健全育成に関わる関係諸機関（警察・子ども相談センター・区子育て支援室など）との行動連携に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修を含め、警察による防犯教室を2回開催する。 ・非行防止教室や薬物乱用防止教室を、高学年対象に年1回行う。 ・必要に応じて家庭と連絡をとり、校内ケース会議や子ども相談センター・区子育て支援室と連携したケース会議を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立菅原小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○校内アンケートにおけるあいさつに関する項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>元気よくあいさつのできる子どもを育てるため、児童会を中心に全学年で「あいさつ運動」に取り組む。保護者・地域の見守り隊と連携し、日常のあいさつができるよう取り組む。</p> <p>また、遊びのきまりが守れるように、運動委員会を中心に啓発活動を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回あいさつに関する生活目標を設定し、あいさつ強調週間を実施する。強調週間の前には、各学級であいさつの場面指導を行う。 ・ホームページや学校だよりで、あいさつ運動を年3回以上紹介する。 ・学期に1回、「遊びのきまりを守る強調週間」を設定する。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>社会見学および講師招聘による体験的な学習を行う。また、学校全体や学級活動での取組によって自尊感情を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で学期に1回以上、「よいところを見つけ」などの取組を行う。 ・社会見学を各学年1回以上、体験学習を各学年1回以上行う。 ・「いのちと性」の教育事業、子どもの情報モラル教育事業を実施する 	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>きょうだい学年による活動の活性化を図り、異学年交流を深めるとともに、自分や他者の価値観を尊重し、相手を思いやる心を醸成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回以上、きょうだい学年による集会活動を実施する。 ・きょうだい学年による活動について、児童アンケートにより振り返りを行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 90 %以上で維持する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>ホームページや学校だより、保護者会などで学校からの情報発信を常に行うこと で、透明性のある学校づくりを行う。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新回数を 1000 回以上、閲覧数を 40000 回以上にする。 	
<p>取組内容②【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>見守り隊等、地域との交流の活性化により、学校と地域の連携をより深める。防災拠点としての学校の役割を高めるため、防災教育に区役所や地域の防災組織と連携した活動を取り入れる。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とかかわる行事を年 8 回以上行う。 ・区役所や地域防災組織、PTA 等と連携した防災訓練を実施する。 	
<p>取組内容③【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>PTA 活動（PTA だよりの掲載も含む）や学校にかかる地域行事をホームページに紹介するなど情報発信し、PTA 及び地域との連携をより深めていく。</p>	
<p>指 標</p> <p>地域や PTA 活動（PTA だよりの掲載も含む）についてホームページ等で紹介する回数を 40 回以上で維持する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○校内アンケートにおける「進んで読書をしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「算数科の授業内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> <p>○全国学力・学習状況調査における無解答率を5%以下にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>読書環境を整備し、蔵書数や読書スペースの増加により、質と量の向上を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書カードを活用して読書習慣の定着につなげる。 ・学期に1回以上、3分間読書などの読書イベントの機会を設ける。 ・ホームページや学校だよりなどで、読書意欲を向上させる内容を掲載する機会を増やす。 <p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学力向上を視点においていた校内研修や研究を充実させる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員参加型の研究授業・研究協議会を年6回、その他、研究授業や校内研修を年30回以上行う。 ・若手教員の指導力向上のため、メンター研修を年10回以上行う。 ・学力向上推進モデル事業として、算数科で年20回程度、国語科で年間3回程度の校内研修、授業参観等を行う。 	

取組内容③【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

基礎基本を重視した個別の学習支援を行う。家庭とも連携し、家庭学習の習慣化と内容の充実（家庭学習プリント、自主学習ノートなど）を図る。

指 標

- ・基礎基本の学習の定着を図るため、週1回「菅原のびっ子タイム」を設定する。
- ・授業内における「学びサポーター」の効果的な活用を図る。
- ・年2回家庭学習状況チェックを行う。
- ・学期に1回以上、良い自主学習ノートを紹介し、意欲を高める。
- ・家庭学習・自主学習の手引を作成し、児童および家庭への啓発を図る。

取組内容④【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

子どもの興味・関心を高めるため、デジタル教科書やタブレット、授業用パソコンなどを使用するなど積極的なICT機器の活用を行う。

指 標

- ・タブレットや授業用パソコンなど、ICT機器を活用した授業を各学級年間35回以上行う。
- ・タブレットなどのICT機器の効果的な活用について、1回以上研修を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上で維持する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>スポーツタイムを活用し、体力の向上を図るとともに運動好きな子どもを育てる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期1回以上、学年の実態に応じスポーツタイムを実施する。 各クラスで週2回以上「みんな遊び」を実施する。 なわとび週間やかけ足週間を実施し、記録カードにがんばりを記入する。 	
<p>取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>体育の授業で、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を行うことで、児童の柔軟性を高める。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育科の準備運動で、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を必ず行う。 全児童が年に2回長座体前屈とシャトルランを計測し、効果を測定する。 	
<p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>強調週間や清潔調べの実施により、児童の健康に関する意識を向上させる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康委員会で学期に1回、「手洗い・うがい」の強調週間を実施し、チェックカードにより振り返りを行う。 ハンカチやティッシュの携帯を意識づけるため、週1回清潔調べをする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	